

医労連速報 '14春闘

2014年2月12日 No7

東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

14春闘！闘えば変わる！



京都：西山病院労組

3日間のストをかまえ年末一時金ゼロ回答から1.5ヵ月

西山病院職員組合では、年末一時金の要求に対して、「経営状況が厳しく、どうしようもない」「対策は検討しているが、まだ見通しができない」などの理由で当初0回答。病院側は経理公開を行い、団体交渉にも応じましたが、回答そのものは動かないままで推移。その後、医労連の支援や、四役交渉・団体交渉・申し入れを重ね、0.7ヶ月の回答を引き出しました。しかし、「そもそも夏の一時金で我慢をして、またか・・・」「これでは生活できない」と臨時大会を開催。12月24日、25日、26日の3日間の全員8時間ストライキを構え、12月20日団体交渉に挑みました。この交渉には組合が要請していた理事長も参加し、病院の置かれている厳しい状況について説明がありましたが、参加者から、「この回答では子どもを養うこともできない」「今後の展望がでるような回答を出してほしい」と再回答を迫り、病院側から「組合員の生活を守るために1.5ヶ月」の回答を引き出しました。西山病院職組のたたかいは、経験の浅い組合役員を中心に、みんなで思いを一つにして頑張った貴重な経験です。引き続き14春闘に向けて、学習、意思統一、要求討議をすすめています。

北海道：道東勤医協

7回の団体交渉、延べ400人が参加、1.75ヵ月で妥結

道東勤医労では年末一時金要求に対して昨年実績△0.65ヵ月の1.3ヵ月の回答。これに対して日本医労連からの支援や事務折衝、団体交渉を重ねてきました。2月6日には7回目となる団体交渉を実施。この交渉には理事長が初めて参加し、労働組合に対し冬季一時金交渉を7回まで長引かせたことに対する謝罪と現在の経営がかかえる課題について説明がされ1.75ヵ月が回答されました。労働組合からは「経営が厳しい局面なことは全組合員が理解している。そのなかで組合員の生活を守るために約束した冬期一時金2.0にどう近づけるか？約束を守る姿勢が一番必要な状況だ。労使の信頼関係を守るために回答された1.75ヵ月と受け止める」と一時金の妥結を宣言しました。今回の13秋闘の団交には延べ400名以上の職員が参加し（最大101名）、自分や仲間のくらし、患者利用者への安全を守る立場から出されたたくさんの発言、そして100名以上となった「私の要求カード」で切実な声や、思いを伝えた結果です。道東勤医協はこの勢いを14春闘へつなげよう!!と意思統一と要求討議を進めています。

役員が構えが春闘を決める 2月末まで要求提出・スト権確立を！